

令和6年度 神吉中学校 学校評価(自己評価)シート

A できている B だいたいできている C あまりできていない D できていない

重点目標	評価項目	評価	総合評価	アンケート関連項目の主な集計結果	改善の方策
心の教育の充実	いのちや心を大切に教育の推進	B	B	<生徒アンケート> ・いじめや暴力をしないようにしている。(肯定的回答99%) ・クラスメイトと仲良くしている。(肯定的回答99%) ・自分以外の人が困っているときは助けようとしている。(肯定的回答97%) ・わがままな言動に注意し、相手の気持ちを考えて人と接するようにしている。(肯定的回答95%) ・学校生活は楽しい。(肯定的回答94%) ・優しい声掛けや協力、手助け等、他の人のためになることをしようとしている。(肯定的回答94%) ・自分の意見が言いやすいクラスの雰囲気になっている。(肯定的回答90%) ・感動した学校行事があった。(肯定的回答83%) ・周囲に間違った言動がある時は注意したり、先生に報告したりするようにしている。(肯定的回答79%) <保護者アンケート> ・お父さんは、いじめや差別を許さない気持ちを持っていますか。(肯定的回答99%) ・お父さんは、友だちを大切にしていますか。(肯定的回答98%) ・お父さんは、自分を大切にしていますか。(肯定的回答96%) ・学校行事は、お子さんの心に残るものとなっていますか。(肯定的回答89%) ・学校は、いじめや差別のない学校づくりに取り組んでいますか。(肯定的回答81%) <教職員アンケート> ・道徳教育、人権教育の充実を図る等、いのちや心を大切に教育の推進に努めましたか。(肯定的回答100%) ・学校行事等を通して、互いに認め合い、支え合い、高め合える生徒の育成に努めましたか。(肯定的回答100%) ・多面的な生徒理解を基盤とした一人一人の生徒が大切にされる教育に努めましたか。(肯定的回答100%)	・いのちや心の大切さについて生徒が主体的に考える機会を充実させる。 ・生徒会活動や学級活動等を通して、生徒が主体的にいじめ防止等に取り組む学校風土を構築する。 ・教育相談や「学校生活に関するアンケート(アセス)」、「心の相談アンケート」の実施により、生徒の内面理解に努めるとともに、いじめを積極的に認知して早期対応につなげる。 ・今日的な人権課題を取り上げた教職員研修を実施し、教職員の指導力の向上及び人権意識の高揚を図る。 ・多様な価値観や今日的な人権課題の理解促進に向けた指導方法の工夫・改善を行う。 ・新制服への改定を通して、性差によらず誰もが自分らしく生きることの大切さについて理解を深める。 ・生徒が物事を多面的・多角的に捉え、自分自身のこととして考え、他者や自己との対話により生き方についての考えを深めることができるよう、道徳の授業を研究する。 ・豊かな人間性を育てることで、自分を大切にするとともに、互いを思いやり、他者を尊重する心を育むための指導方法を工夫する。 ・生徒の主体的な活動を充実させ、生徒が自分たちの力で学級をよくしていくという意識を育む。 ・生徒同士が互いに協力して取り組む場面を意図的に設定し、互いに認め合い、支え合い、高め合う集団づくりをめざしていく。 ・教育相談等の充実や日常の生徒との関わりにより、生徒が相談しやすい環境づくりや、生徒との信頼関係の構築に努める。 ・スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、メンタルサポーター、生徒指導相談員等の専門スタッフと連携した教育活動を推進する。
	感性に訴える人権教育の推進	B			
	考え議論する道徳教育の推進	B			
	互いに認め合い、支え合い、高め合う学級づくり	A			
	多面的な生徒理解を基盤とした一人一人が大切にされる教育の推進	B			
未来を切り拓く力の育成	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善	B	B	<生徒アンケート> ・大人や先生からのアドバイスや指導を、素直に聞き入れるようにしている。(肯定的回答97%) ・授業中、先生の話や他の人の発表を集中して聞くことができている。(肯定的回答95%) ・自分の考えを話したり、行動に移したりするようにしている。(肯定的回答88%) ・授業を通して興味や関心を持ったことがある。(肯定的回答87%) ・学習内容のわからないことは、自分で調べたり、先生や友人に聞いたりする。(肯定的回答86%) ・自分の将来や進路について考えている。(肯定的回答81%) ・宿題や予習復習を行うなど、家庭学習を大切にしている。(肯定的回答74%) <保護者アンケート> ・お父さんは、自分の進路や将来のことについて考えていますか。(肯定的回答69%) ・お父さんは、家庭学習やテスト勉強を計画的にしていますか。(肯定的回答60%) ・お父さんは、学習用端末(Chromebook)を効果的に活用していますか。(肯定的回答54%) ・お父さんは、自らの健康管理と体力の向上に努めていますか。(肯定的回答75%) ・お父さんは、学校行事に意欲的に取り組んでいますか。(肯定的回答89%) <教職員アンケート> ・「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に努めましたか。(肯定的回答82%) ・学習用端末(Chromebook)を活用した授業を実践しましたか。(肯定的回答68%)	・学習用端末を効果的に活用して協働学習を取り入れ、生徒が主体的に学ぶ授業づくりに取り組む。 ・「協同的探究学習」の実践等により、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を行う。 ・ICT担当教員が中心となり、授業における学習用端末(Chromebook)や大型モニターの効果的な活用事例を共有する。 ・「情報モラル教室(SNS講習会)」を継続して実施し、ネットの危険性について生徒や保護者に啓発していく。 ・生徒の興味・関心を引き出す授業を目指し、生徒が主体的に学習に取り組むことができるようにする。 ・生徒会活動の充実により、生徒が主体的に自分たちの学校をよりよくしていこうとする意識を醸成する。 ・キャリア教育や体験活動等を通して、社会の一員としての自覚や社会参画への意欲を養う。 ・進路指導等を通じて、自分の適正や興味、関心について考えさせ、目標を持って学習に取り組むことができるようにする。 ・新型コロナウイルス感染症やインフルエンザ等、生徒が主体的に感染防止に努めるように指導を継続する。 ・給食指導を通して、バランスよく栄養を摂取することの大切さを学ばせる。 ・保健体育科の授業や体育大会等の学校行事、部活動等を通して、体力の向上を図る。
	学習用端末や大型モニターの効果的な活用及び情報モラル教育の推進	B			
	生徒の主体性を育む教育の展開	B			
	将来の目標に向けて努力する態度の醸成	B			
	自らの健康管理と体力の向上に努める態度の醸成	B			
生徒一人一人のよさや可能性を引き出す教育の推進	あらゆる教育活動を通じた「達成感」や「自己有用感」、「自己肯定感」の醸成	B	B	<生徒アンケート> ・部活動は楽しい。(肯定的回答96%) ・生徒会活動では、生徒会の一員として協力している。(肯定的回答96%) ・学校行事の取組では、自分の力を発揮した。(肯定的回答91%) <保護者アンケート> ・お父さんは、学校生活を通して目標を持って努力していることはありますか。(肯定的回答76%) ・お父さんは、学校生活を通して努力の成果が表れていることはありますか。(肯定的回答76%) ・お父さんは、物事を前向きに捉えることができますか。(肯定的回答83%) <教職員アンケート> ・学びの過程を大切に教育に努めましたか。(肯定的回答91%)	・授業や学校行事等において達成可能な目標を設定し、それを着実に達成させることにより成功体験を積み重ねさせる。 ・様々な取組を通して生徒に活躍の場を与えたり、教職員が生徒を認め励ましたりするなど、自己肯定感や自己有用感の醸成に努める。 ・数学科、英語科における「兵庫型学習システム」少人数授業を通して、きめ細やかな指導を充実させ、基礎学力の定着を図る。 ・学校行事等において、子どもたちに身に付けさせたい力を共通理解し、計画的に取組を進めていく。
	学びの過程を大切に、きめ細やかな教育の実践	B			
個に応じた支援の充実	生徒一人一人の教育的ニーズに応じた支援の充実	B	B	<生徒アンケート> ・楽しくわかりやすい教科や授業がある。(肯定的回答94%) ・教科書・資料集・プリント等の内容をおおむね理解している。(肯定的回答89%) ・相談できる先生がいる。(肯定的回答87%) <保護者アンケート> ・学校は、わかりやすい授業を行っていますか。(肯定的回答77%) ・お父さんは、学校での学習内容をおおむね理解していますか。(肯定的回答71%) ・学校は、施設や設備が充実し、きれいで落ち着いた環境になっていますか。(肯定的回答77%) <教職員アンケート> ・学びやすい教室環境、学習環境の整備に努めましたか。(肯定的評価97%) ・不登校生徒に対する積極的な理解と支援に努めましたか。(肯定的回答88%) ・インクルーシブの視点を取り入れた授業を計画的・継続的に進めましたか。(肯定的回答62%)	・特別な配慮や支援を必要とする生徒に対して、教職員間や専門スタッフ、関係機関と連携するなど、「チーム学校」として組織的に対応する。 ・特別支援コーディネーターが中心となって、生徒一人一人の教育的ニーズに応じた支援の充実を図る。 ・校舎内の破損や危険箇所があれば市教育委員会と連携しながら早急に対応する。 ・生徒会活動や清掃活動等を通して、生徒が環境美化に主体的に取り組むことができるようにする。 ・相談室や、市教育委員会のわかば教室、サテライト教室など、多様な学びの場を積極的に活用していく。 ・「個別の指導計画」や「個別的教育支援計画」を活用して共通理解を図るとともに、教職員研修を充実させる。
	学びやすい教室環境、学習環境の整備及び多様な学びの場の提供	B			
	授業における説明方法や内容、教材の提示方法、生徒の活動等の工夫・改善	B			
保護者や地域と連携・協働した教育活動の展開	保護者や地域への積極的な情報発信等による、開かれた教育活動の推進	B	A	<生徒アンケート> ・学校からの配布物やプリント等を、お家の方に渡している。(肯定的回答88%) ・学校の様子について、お家の方に話をしている。(肯定的回答86%) ・地域の行事やボランティア活動に積極的に参加している。(肯定的回答63%) <保護者アンケート> ・学校の様子は、お子さんを通してよくわかりますか。(肯定的回答70%) ・お子さんのことで、気軽に先生に相談できますか。(肯定的回答86%) ・通知表や成績票などで、お子さんの学力や学習状況がよくわかりますか。(肯定的回答86%) ・学校は、学校行事の開催について積極的に保護者に発信していますか。(肯定的回答89%) ・学校は、ホームページ等で学校の様子をわかりやすく伝えていきますか。(肯定的回答76%)	・学校のホームページ等により、学校の取組や生徒の活動の様子、学校行事の案内などを保護者や地域に積極的に発信していく。また、スクリーンや39メールについても、さらなる有効活用をめざしていく。 ・学校行事や授業参観、オープンスクールなどにより、学校の教育活動を保護者に公開する機会を充実させる。 ・学校運営協議会委員から学校運営等に関するご意見をいただきながら、教育活動の改善につなげていく。 ・「創立50周年記念式典」の開催を契機に、地域とともにある学校づくりをより一層推進していく。 ・PTA関係各種会合や個別懇談会等を通して、教職員と保護者が互いに連携しながら生徒の健全育成に努める。
	「学校運営協議会」や「創立50周年記念事業実行委員会」を中心とした、地域とともにある学校づくり	A			
	PTA活動との連携による、よりよい教育活動の実践に向けた協力体制の確立	A			